

葉月愛南文芸

篠南川柳会

「酒」

あなたとは別れられない名はお酒
 しかめつ面酒が入ればエビス顔
 酒煙草止めてアメ玉しゃぶる爺
 人生を酒にのませて棒にふる
 初節句祖父母が主役祝い酒
 コップ酒ほんのり紅さし品が良い
 居眠りと飲酒運転やめたいネ
 意志強く酒止められず車椅子
 うまい酒どれ程体に効くのかナ
 甘酒は夏の暑さにもってこい
 お洒落して出かける先はクリニツク

芝田
 もつちゃん
 すみ子
 千代子
 保美
 木本
 ちずる
 さつき
 国松
 みち子
 安子

浅野勇一郎
 長田 高明
 長田千恵美

菊川俳句会

鯛の御詠歌遠き日々のこと
 病葉と呼ばれることも個性なり
 かき氷幼き頃のイチゴ味

さわらび短歌会

風鈴と発車ベル鳴る始発駅
 梅雨晴れ間寝む子の指を数えたり
 日傘用傘立てのある梅雨最中
 主居ぬ庭の真中の赤いバラ
 人恋し七重の雲の夕端居
 遺品本葉に一句夏の風

小野山シマ子
 鶴川 裕子
 中川 一喜
 西川 和代
 村尾加都子
 安岡留美子

畦にそい畦ごと蛍の点す火を楽しみながら農道に行く
 相伴の妻より少ないプレゼント父の日ですと妻より後に
 鬼百合の蕾に止まる粒粒の雨のしずくが小さく光る
 不在連絡票のガイドに慣れねば数回をやり直しつつ事を終りぬ
 二晩を厨に匂う梅十キロ夢にまで出て吾をせかせる
 里芋の露を集めてひそやかに書いて結びしあの少女の日
 プランターにマッチ棒ほどの胡瓜の実台風能耐えいくつも生りぬ
 蚊帳の中に放ちたるホタルの点りあしふるさとの夏今に忘れず
 折角のコーヒー冷めてしまふほど一首の推敲に時間をかける
 飛車角の交換冴えし新記録藤井少年にただ驚嘆す
 久々に寝足りし朝カーテンを開ければ庭に白き百合咲く

岩村千代子
 澤近 正弘
 野崎 幸子
 水野美代子
 河上 明美
 前田 充
 扇野八代生
 前田 知子
 藤井 擴
 前田 昭夫
 松本マス子

はじめまして。赤ちゃん。

6月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

6月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。